



<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

平成30年1月

新春のお慶びを申し上げます

初日の出(阿蘇外輪山大観望付近から望む)

■今号16ページ 主な内容

- 原山寅雄組合長「新年のご挨拶」
- 県選出国會議員へ緊急要請
- 生産各部会の生育・出荷・査定会・総会等
- 地域社会と共に盛り上がったJA主催のイベント
今号も話題と情報満載!!



▲阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

平成30年 新年のご挨拶

様々な困難を組合員と共に 「自助・共助・公助」により乗り越えよう



阿蘇農業協同組合
代表理事組合長 原山 寅雄

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。当組合の事業運営につきましては、日頃から格別なるご協力とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の阿蘇管内の農業を振り返ってみますと、台風など大きな自然災害はなかったものの、水稲・園芸関係では天候不順により生育に影響が生じ、収量、品質の低下などが見られました。また、熊本地震からの復興に於いて弊害になっておりました生コン価格を、生コン協会のご協力により立米当り3,500円の値下げをすることができ、復興に向けて新たな一步を踏み出すことができました。

農業情勢については、米粉や飼料用米等、生産調整の仕組みが導入されてきましたが、米の消費量については減少傾向が続いています。このような中、平成29年産米のコシヒカリの仮渡金について全国一高い金額を設定することができました。また、政府は、平成30年産米以降は行政による生産数量目標の配分は行わず、生産者や集荷業者・団体が中心となって需要に応じた生産を行うこととしており、主食用米の需要に応じた生産と、非主食用米や大豆等の作付けによる水田のフル活用を着実に進めるため、地域と連携・協力しながら対応することとなる新たな年でもあります。

一方、貿易交渉では、アメリカはTPP協定から離脱し、今後は新たな二国間交渉を目指す姿勢を打ち出しており、その戦略の見直しが再び迫られている中、まさに先行き不透明な状況下にあります。

さらに、農協改革につきましては、平成28年4月より改正農協法が施行され、現場の実態を踏まえた改正農協法への対応やJAグループとしての自己改革が求められており、今後も引き続きJAが抱える諸課題について取り組みの強化を図ります。そして今後の国の動向に注視しながら一人の農家としまして、様々な困難を組合員と共に「自助・共助・公助」により乗り越え、地域になくてはならない存在になれるよう努力してまいりますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。

あわせて、平成30年度は総合3ヵ年計画の最終年度に入ります。「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」など計画の達成に向け、組合員や利用者の方々の期待に応え、地域社会に貢献できるJAを目指してまいります。

結びに、迎えた本年が皆様にとって、更に地域にとっても明るく輝かしい一年でありますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



**日本・EU間のEPA大筋合意
卸売市場法の抜本的見直し対策等
県選出国會議員へ緊急要請**



県選出の国會議員へ要請を行う原山寅雄組合長

2017年11月25日、ホテル熊本
ニュースカイで「県選出国會議員への緊
急要請集会」が開催され、各JAの組
長をはじめ、JA中央会・連合会、県農
政連総支部長など関係者ら50人が出
席しました。

同席上、県農業者政治連盟副会長を
兼ねる原山寅雄組合長が、日本・EU
間のEPA大筋合意に係わるPPP関
連対策や、卸売市場法の抜本的見直し
に係わる要請を行いました。また当日は
諸問題の意見交換会も行われました。

**JA阿蘇を全国ラジオ「あぐりずむWEEKEND」でPR
トマト栽培の塩谷先さんらを取材**



10月26日、JA全農提供で全国38局
で放送されているTOKYOFMラジ
オ番組「あぐりずむWEEKEND」
の収録が行われ、トマト栽培の塩谷先
さん(阿蘇市)と、原山寅雄組合長が出
演しました。

塩谷さんは旅行で訪れた阿蘇の風景
に魅かれ、阿蘇で新規就農を決意。営農
をするなら施設園芸と思い、地元のト
マト農家の指導を受け、現在トマト裁
培11年となります。今では県外就農者
の後輩も仲間に加わり、楽しみながら
農業を続けています。収録で塩谷さん

**農産物販売で重要となる
生産工程管理(GAP)を研修
JA阿蘇営農部園芸課**

今後の農産物販売で重要となる生
産工程管理(GAP)の知識習得及び
先進事例を学ぶ研修会が10月18日、県
野菜振興協会阿蘇支部技術部会主催



は、植付から収穫までの栽培方法や将
来の夢について語りました。

一方、原山組合長は世界農業遺産に
も認められている阿蘇の地域性や熊本
地震の被害状況、阿蘇の農産物とJA
阿蘇の取り組みなどを紹介しました。
放送は11月18日の午前8時30分から20
分間放送されました。(写真上：オオハシ
益由規さんからインタビューを受ける原山組
合長と塩谷さん)

写真上＝帳簿類の説明を受ける指導員
写真下＝選果場の取り組み事例
について説明を受ける指導員



で開かれ、営農指導員ら6人が参加し
ました。阿蘇支部技術部会は、県地域
振興局・自治体・JAで構成されてお
り、産地の基盤産業である農業の栽培
技術向上を目的として、年数回の研修
が実施されています。

今回は同研修の一環として、熊本県
版GAPの取り組み産地であるJA菊
池管内を訪れ、実際に認証を受けた生
産者の農機具保管場所や選果場を視
察し、認証を受けるまでの過程や農業
の使用履歴等が記入してある帳簿類の
説明を受けました。

研修に参加した指導販売係の後藤
真智職員は「GAPを行うことで、作業
工程の危害を回避でき、安全性を対外
的に示すこともできる」と感想を語っ
ていました。JA阿蘇では、平成29年か
らJGAP指導員の取得に取り組んで
おり、今後とも計画的に取得者を増や
す予定です。

生産各部会の生育・出荷・査定会・研修会などの情報

名実ともに県下一の産地めざし
土づくりを重点に栽培管理

J A阿蘇アスパラ部会

アスパラ部会は10月16～19日、地区別栽培管理講習会を開きました。

この講習会は、収穫終了後から春芽の保温開始前までの作業ポイントを確認するもので、出席した部会員らは次年度の春芽に向けた管理や収穫終了後の灌水管理、肥培管理などを学びました。また、次年度より導入をする微生物殺虫剤「ボタニガードES」についての説明もあり、アザミウマ類の被害に悩む生産者らは薬剤の特徴や使用方法について質問をしていました。

同部会は、他産地に負けないアスパラ生産を目指しており、施肥前の土壌分析に基づき、有機質肥料を主体とした肥料設計を心掛けています。

指導販売係の後藤真智職員は「すでに春芽に向けた管理は始まっている。春芽で収量増を目指すためにも、気を抜かないように」と、生産者へ呼びかけていました。

平成29年産については、9月末実績で出荷数量前年比88%、販売高同96%、平均単価同109%となっています。

「阿蘇いちご」関西市場へ重点出荷
販売目標5億5000万円



J A阿蘇管内では2017年産いちごの出荷が、10月28日より始まりました。本年度のJ A阿蘇いちご部会生産者数は47戸（前年同）、面積12.5ha（同）、計画出荷数量180万パック（実績比107%）、販売額5億5000万円（同107%）を目標に掲げています。品種別生産については3品種の作付けとなっており、さがほのか（49%）・ゆうべに（25%）・恋みのり（26%）の割合となっています。

取材日（11月15日）に収穫作業を行っていた坂梨秀幸さんは、高設栽培さがほのか26aを栽培しています。

坂梨さんは「定植後に台風が襲いましたが、被害も出なくて待望の出荷日です。

無事迎えることができました。初期の玉太りや品質も良好だ」と、これからの出荷への意気込みを語っていました。

営農部園芸課の江藤秀晃指導員は「定植後については、低温・低日照で推移し生育への影響が心配されたが、2番花も連続出雷しており、年内から年明けには潤沢な出荷を見込んでいる」と抱負を語っていました。

J A阿蘇のいちごは関西地方市場を重点に出荷されており、11月下旬頃は全生産者の出荷が出揃いました。



生産者の坂梨秀幸さんと江藤指導員

営農・購買担当連携強化学習会
「部門を越えて
野菜苗取り扱い知識を学ぶ」

J A阿蘇では11月9日、2017年度第1回営農・購買担当連携強化学習会を中部野菜センターで開催し、担当職員ら約40人が出席しました。

今回の研修会では、野菜苗の受発注時の取り扱いにおける基礎知識を中心に学びました。同研修会はJ Aの2013年度提案者制度により採択された取り組みであり、これまでに肥料や農薬について基礎から学んできました。今回は、野菜苗の受発注が最盛期を迎える前に受け渡しの注意点等について、グリーンセンターくまもとの担当者を講師に研修を受けました。

田嶋賢治営農部長は「苗の取り扱いについては些細なことが大きなトラブルになるため、確認の意味を踏まえて研修を受けてほしい」と学習会の目的を述べ、参加した職員らは「苗生産に対する質問等があがっており、今後の営農指導及び購買店舗での接客に生かしていける研修会となった」と、感想を述べていました。また、今回の研修ではGAP（農業生産管理工程）についても説明があり、参加した職員らは申請の流れ等を確認していました。

生産各部会の生育・出荷・査定会・研修会などの情報

アスパラ部会の女性生産者
野菜ソムリエに販売の
ポイント学ぶ



アスパラ部会は11月24日、同部会の女性生産者を対象とした勉強会を開きました。当日は生産者ら25人が参加、販売促進における声掛けのポイントや冬野菜における栄養補給について学びました。勉強会に先立ち、山部修部会長が「販売促進における産地アピールは効果的なので、しっかりと学んでほしい」と挨拶。その後、野菜ソムリエの右田昌子さんが講師になって「販売の際、初対面の人が最初に感じるのはいま目であり、その次が声。この2つをしっかりと押さえておけば大丈夫」と話しました。参加した生産者からは「人に声を掛けるのは難しいが、学んだことを活かしていきたい」と語り、今後の販売促進活動に意欲を見せていました。(写真Ⅱ販売促進時のポイントについて説明する右田さん)

需要期を前に選別向上へ講習会
蘇陽地区の生シイタケ原木栽培



J A阿蘇蘇陽集荷場で11月9日、生シイタケ出荷が本格的に始まる前に、選別講習及び目慣らし会が開かれました。蘇陽地区の生シイタケは原木栽培で行われており、阿蘇の気候を生かして肉厚で美味しいと市場からも高い評価を得ています。

当日は生産者ら約30人が集り、本田孝文部会長が「需要期を前に選別の意識を高めることで、消費地に安定した品質の生シイタケを届けることが出来る」と挨拶しました。現在、日量500〜800ケース(1ケース1kg)程度が出荷されています。販売担当の甲斐亮太職員は「どの産地にも負けない肉厚と味に自信を持つている。阿蘇というブランドを生かした販売を今後していきたい」と抱負を語っていました。

蘇陽地区「切り花用葉牡丹」
年末に向けて生育良好
雨よけ栽培で高品質な仕上がり

J A阿蘇蘇陽地区では、平成28年から栽培されている切り花用葉牡丹(品種Ⅱ「晴姿」と「初紅」)が順調に生育しており、年末の需要期における出荷に期待がかかっています。今季は簡易な雨よけ栽培に取り組んだこともあり、前年の同時期と比べても仕上がりも良好です。



今季は新たな出荷階級として2Sを導入し、S規格と区別することで、より品質の安定を図っていく方針です。出荷最盛期は11月中下旬となり、福岡を中心に5月まで約4万2000ケースの出荷を予定しています。

写真上Ⅱ選別基準を説明する担当職員
写真右Ⅱ挨拶をする本田部会長

特に今季は、昨年の反省を生かして品質改善を目的とした「簡易雨よけ」と「マルチ」を導入しました。その結果、茎の伸び具合や発色等は昨年以上の仕上がりとなりました。販売担当の上田裕樹職員は「まだ課題は山積しているが、一年一年改善していくことで、さらに市場評価を高めていきたい」と抱負を語っていました。出荷は12月末に九州管内市場へ約1万本程度が見込まれています。(写真右Ⅱ11月16日撮影Ⅱ生育状況を確認する担当職員)

生産各部会の生育・出荷・査定会・研修会などの情報

「消費者の信頼・期待に
応える産地づくり」を！
蘇陽総合部会連絡協議会合同反省会

J A阿蘇蘇陽総合部会連絡協議会は11月17日、合同反省会を開きました。当日は生産者ら約70人が出席し、品目の枠を越えて取り組んできた「消費者の信頼・期待に応える産地づくり」について、反省点や改善策について協議を行いました。

同協議会は野菜・果樹・花卉・稲作など12部会から構成されており、九州内外の消費地へ農産物を出荷し、市場からも夏秋産地として重要な産地として位置付けられています。

反省会に先立ち、佐藤幸代部会長が挨拶の中で「天候次第ということもあり、安定した出荷ができない中であっても、市場担当者には確実な販売をして頂いた」と、感謝の気持ちを述べました。

出荷反省会では、2017年産における各品目の販売状況の報告が行われました。

同協議会では、次年度以降も「高品質」「良心的選別」を基本に、消費地へ安定供給していくことを目指しています。

野尻地区の新たな産地化を目指して
「アストラランチア栽培」講習会

J A阿蘇野尻地区で「昨年より栽培が始まったアストラランチア」栽培講習会が11月16日開かれ、生産者ら10人が参加しました。当日は育苗元の担当者より、今後の栽培管理についての講習が行われました。

栽培農家のリーダーである阿南輝記さんが「栽培管理で分からないことも多いが、しっかりと学んで良いものを作っていきましょう」と挨拶。その後、種苗元の担当者より株分けの時期や注意点の説明がありました。参加した生産者からは、肥培管理や病害虫対策について質問が寄せられていました。

同地区で「アストラランチア」栽培が始まった経緯は、市場より「他産地にはない花作りも良いのではないか」と言われ

J A阿蘇管農部園芸課
J A阿蘇「トルコギキョウ」の
更なる産地づくりを目指そう

11月17日、J A阿蘇管内のトルコギキョウ生産者や品種メーカー、J A経済連、県職員ら関係者50人が参加して、2018年度産に向けての新品種説明会と品質向上のための研修会が開かれました。

研修会では、種苗メーカー6社が新品種についての花卉の大きさや丈の長さ、生育に適した圃場の条件、出荷時期などを説明しました。

生産者はカタログを見ながら、新品種サンプルの切り花を手にとって確かめたりしました。

熊本県農業技術課の担当者からは、たことが始まりで、茶席の花としても使われる「アストラランチア」の栽培がスタートしました。

販売担当の堀畑善美職員は「少ない需要ではあるが、必要とする消費者は必ずいる。生産者と一つになって良い品物を作っていきたい」と意気込みを語っていました。現在は同地区で5人が栽培しており、今後は株分け作業で栽植本数を増やしていく予定です。

(写真上)株分け作業について学ぶ生産者



トルコギキョウ斑点病の発生ステージについての調査内容と対策について講演が行われました。また、経済連園芸指導課の担当者からは、日持ち認証制度取得についての取り組みに向けての説明がありました。

J A阿蘇トルコギキョウ専門部会(仮)代表の白石豊和さんは「生産者個々のレベルアップに繋がる研修会となった。今後関係機関と連携し、品質向上・所得向上に繋がる勉強会や研修会を開催したい」と、感想を語っていました。

今回の研修会は、更なる産地づくりを目指した研修会となりました。

(写真下)品種説明会の様子

生産各部会の生育・出荷・査定会・研修会などの情報

ピーマンの病気発生ゼロを
JA阿蘇ピーマン部会勉強会

JA阿蘇ピーマン部会は12月1日、ピーマンにおける病害対策講習会を開きました。当日は蘇陽地区の生産者ら30人が出席し、上益城地域振興局農業普及・振興課の担当職員より、病害の対策等について説明がありました。

平成29年、同地区では「斑点性病害」の発生が多かったこともあり、次年度は病害発生ゼロを目指し、片付けの段階から対策を実施することを申し合わせ、今後とも生産者・地域振興局・JAが一体となつて病害対策に努めていくことを確認しました。

JA阿蘇 スマイル

阿蘇南中央支所融資課融資係
川崎 慎一郎 (32)



現在、入組5年目で融資を担当しています。熊本地震で被災された方々の、農業用設備の再建資金、住宅新築の為の住宅ローン等で被災された方々の復興に、少しでもお役に立てればと、日々業務にあたっています。これからも少しでもたくさんの方々の要望に応えられるよう「笑顔」を忘れず、頑張っていきます。

年々レベルがアップ
JA阿蘇ロールプレイング大会
最優秀賞に阿蘇南高森支所の
下田麻奈美・田上清勝チーム



競技を行う阿蘇南高森支所の下田麻奈美さん

JA阿蘇は12月2日、一の宮中央支所で6チームが参加し、信用窓口担当者によるロールプレイング阿蘇大会を行い、最優秀賞に阿蘇南高森支所の下田麻奈美さん・田上清勝さんのチームが選ばれた。

当日は原山寅雄組合長らを審査員に迎え、70名の関係職員が参加して行われました。「お客様に選ばれ、信頼される地域ナンバーワンの窓口を目指し」、テラー役・上司役の2人1組のチームで、所要時間内で与えられた課題での

工夫を凝らした競技を行いました。最優秀賞チームは2月24日ウイニング松橋で行われる「JAバンク熊本窓口ロールプレイング大会」(JAバンク熊本主催)に出場します。



成績は次の通り。▽最優秀賞Ⅱ下田麻奈美・田上清勝(阿蘇南高森支所)▽優秀賞Ⅱ河津由紀・穴見優子(小国郷中央支所)、伊藤あずさ・山内美幸(阿蘇町中央支所)

写真上Ⅱ阿蘇南高森支所、写真中Ⅱ小国郷中央支所、写真下Ⅱ阿蘇町中央支所の各チーム

JA阿蘇「農畜産物販売会」
熊本市びふれす
広場で開催



第2回JA阿蘇農畜産物販売会が10月7日、熊本市上通入口のびふれす広場で開催され、大勢の買い物客で賑わいました。

当日は、ほうれん草・ピーマン・きゅうり・トマト・アスパラ・たまねぎ・阿蘇たかな漬けなど、阿蘇各地で収穫された新鮮な野菜などが展示販売されました。また、阿蘇各地域の生産組合や生産団体から出展された農畜産物も展示即売されました。

第11回JA阿蘇旗争奪
学童わんぱく野球大会
「阿蘇ビクトリー」チームが
2度目の優勝に輝く！

JA阿蘇主催の第11回JA阿蘇旗争奪学童わんぱく野球大会が10月14日、阿蘇市一の宮総合運動公園グラウンドで開かれ、阿蘇郡市の小学校で構成する7チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

この大会は組合員・地域住民が住みなれた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな地域社会・環境づくりに貢献するため、社会貢献活動の一環として開催されたものです。

開会式では春山代表理事常務が「みなさんが大会に向け練習されてきた成果を十分に発揮され、最後まで頑張ってください」と挨拶しました。

選手を代表して、阿蘇西イーグル主将の岩下愛蓮君が元気に選手宣誓を行いました。

試合は順調に進行し、決勝戦は阿蘇ビクトリーと高森ドンキーズで行われました。熱戦の結果、阿蘇ビクトリーが7対1で、第1回大会優勝以降2度目の優勝旗を手にしました。



写真上＝阿蘇西イーグル主将の岩下君の選手宣誓／写真左＝7チームが参加した開会式の様子



熱戦
コロシアム



優勝した「阿蘇ビクトリー」チーム



準優勝の「高森ドンキーズ」チーム



**錦秋の阿蘇路を満喫しながら
阿蘇のパワースポットめぐり
阿蘇世界農業遺産ウォーキング**

JA阿蘇は健康寿命100歳プロジェクトの一環として、世界農業遺産ウォーキング大会を11月11日開催しました。大会は今回で6回目の開催となり、熊本県下より120人が参加しました。

ウォーキングは、阿蘇神社を散策す



る5kmコースと、国造神社等を巡る10kmコースの2つが設けられ、それぞれ阿蘇のパワースポットを巡りました。

参加者からは「楽しく参加することが出来て、とても爽快で来年も参加したい」と感想が聞かれました。

また、当日は世界農業遺産フェアと一の宮中央支所感謝祭も同時に開催され、500人を超える参加者にはJA阿蘇女性部と青壮年部等から、豚汁や芋天などが振る舞われました。



写真右から「阿蘇神社で余裕の1枚!」、スタッフによるパフォーマンス、写真上から「ウォーキング出発の様子、国造神社を巡る参加者」

JA阿蘇本所敷地内にコイン精米機

JA阿蘇本所敷地内(一の宮ライスセンター)前に、コイン精米機を設置しました。この精米機の特徴として「クリーン白米」「上白」「標準」に加えて、7.5:3分つきが選べ、お客様の好みに沿った精米が出来るようになっておりますので、多くの方のご利用を、お待ちしております。

- 営業(年中無休・24時間営業)
- 利用料金

- 1 ~ 10 kg ¥1000
 - 11 ~ 20 kg ¥2000
 - 21 ~ 30 kg ¥3000
- ※利用料金は10kg単位です。



スポーツの秋、各地で「ゴルフ」「グラウンドゴルフ」「ゲートボール」など多彩な競技が開かれる!

年金友の会グラウンドゴルフ大会



優勝 後藤 一朗選手 (高森)
 準優勝 吉良山廣己選手 (高森)
 3位 坂梨 シヅ子選手 (一の宮)

JA阿蘇年金友の会は10月7日、農村公園あびかで「年金友の会第15回親善グラウンドゴルフ大会」を開催しました。本大会は会員相互の健康増進を



図り、親睦と融和を深めることを目的に行われています。今年には阿蘇管内から198人の会員が参加。開会式では選手を代表して阿蘇町支部の荒上征善選手が元気に選手宣誓を行いました。

各選手は秋晴れの中、日頃の練習成果を発揮し熱戦を繰り広げました。競技の結果は次の通りです。(敬称略)

優勝 後藤 一朗 (高森支部)、準優勝 吉良山廣己 (高森支部)、3位 坂梨シヅ子 (一の宮支部)



(写真右上) 荒上征善選手の選手宣誓 / 写真左上) 優勝の表彰 / 写真右) プレーの様子

JA阿蘇年金ゴルフ大会
 優勝 後藤幹男さん (高森)
 グロス部優勝 後藤新一さん (波野)
 宇都宮信也さん (小国郷)



JA阿蘇は10月17日、「第3回JA阿蘇年金ゴルフ大会」を阿蘇市「あつまる阿蘇赤水ゴルフ倶楽部」で行い、30人の選手が参加しました。

本大会は会員相互の健康増進を図り、親睦と融和を深めることを目的に、今回で3回目の開催となります。

開会式では主催者の春山常務が挨拶、昨年度の優勝の工藤西男さんが始球式を行い、プレーが開始されました。

競技方法はダブルペリアで行い、各

ホールではスーパーショットなどがあり、選手たちは初秋の阿蘇で楽しい一日を過ごしました。

熱戦の結果、後藤幹男さん(高森)が優勝。上位入賞者8人は11月22日、あつまる宇土ゴルフ倶楽部で行われた県大会に出場しました。

成績(敬称略)は次の通りです。

▽優勝 後藤幹男(高森)、準優勝 宇都宮信也(小国郷)、3位 芹口誓彰(高森) / ▽グロスの部優勝 後藤新一(波野)、宇都宮信也(小国郷)



(写真上) 工藤西男さんの始球式 / 写真右) 上位入賞の左から芹口・宇都宮・後藤幹男・後藤新一の各選手

スポーツの秋、各地で「ゴルフ」「グラウンドゴルフ」「ゲートボール」など多彩な競技が開かれる!

J A阿蘇年金友の会は11月11日、阿蘇市のグラウンドで「年金友の会親善ゲートボール大会」を開催しました。今年阿蘇管内から16チーム85人の会員が参加しました。

開会式では選手を代表して南阿蘇チームの藤原イチ子選手が元気に選手宣誓を行いました。

各選手は秋晴れの中、日頃の練習成果を発揮し熱戦を繰り広げました。

競技結果は次の通りです。(敬称略)

優勝 小国郷チーム、準優勝 今町4チーム、3位 今町6チーム



優勝した「小国郷チーム」

年金友の会親善ゲートボール大会
優勝 小国郷チーム
準優勝 今町4チーム
3位 今町6チーム



熱戦が繰り広げられた競技の様子



選手宣誓を行う南阿蘇チームの藤原イチ子選手

「第19回JAバンク熊本・年金友の会親善グラウンドゴルフ大会」が11月15日、パークドーム熊本で開かれ県内JAから497人が参加しました。

この大会は熊本県内のJA年金友の会組織の拡大を図るとともに、会員相互の親善と融和を深めることを目的に毎年開催されています。JA阿蘇からも地区予選を勝ち抜いた45人が参加しました。

試合はA・Bブロック4コートに分かれ行われ、各選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。

試合の結果、阿蘇町支部の山内イチ子さんがAブロック8位、阿蘇町支部の



JAバンク熊本・年金友の会親善グラウンドゴルフ大会
阿蘇町支部の
山内・谷村両選手が入賞

(写真上) Bブロック3位入賞の谷村英敏選手とAブロック8位入賞の山内イチ子選手
写真右 大会出場の選手の皆さん



谷村英敏さんがBブロック3位に入賞しました。

閉会式後のお楽しみ抽選会では、当選番号が発表されるたびに歓声が上がります。当選者は豪華賞品を手に喜んでいました。

地域社会と共に進み続ける「JA阿蘇」の多彩な取り組み!

地域住民との親睦を深める 高森中央支所22年ぶり「感謝祭」



JA阿蘇高森中央支所は、地域住民との交流及びJA活動の取り組みに触れてもらうことを目的に、1995年以来22年ぶりとなる感謝祭を10月28日、高森野菜集荷場で開きました。当日は雨天にもかかわらず、多くの来場者にぎわいました。

感謝祭のオープニングを地元の前原仁田神社奉納獅子舞が飾り、高森幼稚園の和太鼓演奏や組合員さんによるモノマネショー等があり、来場者は楽しい時間を過ごしました。

また、JA職員による農産物の販売も行われ、購入した来場者は「地元の新鮮な野菜を買うことが出来てよかった」と、喜んでいました。

工藤徳義支所長は「地域の方々と交流することで、より一層地域に密着した活動が出来るので、今後もさまざまな交流をしていきたい」と、抱負を語っていました。

同中央支所は地元の夏祭り等にも職員一同が参加しており、地域に根差したJA活動を実践しています。



(写真上||高森幼稚園児の和太鼓演奏

写真右||感謝祭に詰め掛けた来場者)

JA阿蘇青壮年部 ☆★初の婚活イベントで♥♥ ♥2組のカップルが成立★



JA阿蘇青壮年部は平成29年11月25日、南阿蘇村で初の婚活イベントを開催しました。

同イベントは、農業でも課題となっている少子高齢化や担い手不足の解消につなげることを目的としています。

イベント担当の橋本龍生部長は「阿蘇の魅力を感じていただき、雄大な阿蘇で将来、一緒に農業に挑戦してもらえれば」と、イベントの趣旨を熱く語っていました。

当日は地元久木野のそば打ち体験やフラバレーボール交流、さらに阿蘇を代表する赤牛の焼肉などを参加者に振る舞い、阿蘇の良さをアピールしました。その結果、2組のカップルが成立することとなりました。

イベント終了後は、地元温泉でゆっくり汗を流しました。

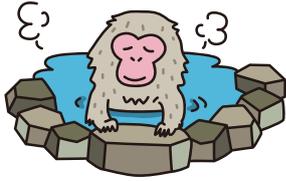
担当事務局の園田真治職員は「初めての婚活イベントで2組のカップルが成立したのは嬉しい。来年はもっと内容を工夫し、より阿蘇の魅力を発信して行きたい」と意気込みを語っていました。



写真上||そば打ち体験の様子

写真右||フラバレーボール交流の様子

厚生連ニュース



ノロウイルス



ノロウイルス感染症とは、ノロウイルスが手指や食品から口に入り、乳幼児から高齢者までの幅広い層に急性胃腸炎を引き起こす、疾患のことです。冬場に多く、11月頃から流行がはじまり12～2月にかけてピークを迎えます。

主な症状は、嘔吐、下痢、腹痛など、また発熱を伴うこともあります。

感染から発症まで24～48時間程度とされていますが、

これらの症状は1～2日程度で治癒し、後遺症が残ることはありません。

予防方法

- ① 調理前、トイレの後は**せっけんを使いしっかり手を洗いましょう!**
使用するタオル等は清潔なものを使用し共有するのは避けましょう。
(特にノロウイルスが流行する冬場は、水が冷たく、手洗いが疎かになりがちです)
- ② 食品の生食はできるだけ避け(特に生カキや二枚貝)、中心部まで**十分に加熱**をしましょう。感染性をなくすには食品の中心温度が**85℃以上で1分間以上**の加熱が必要です。
生鮮食品(野菜・果物等)は十分に洗浄しましょう。
- ③ 便や吐物には大量のウイルスが含まれているため、処理の際には**手袋やマスク、ガウンやエプロン**を着用しましょう。
- ④ ノロウイルスにはアルコール消毒では効果がないので、**塩素系消毒剤(市販の台所用漂白剤や哺乳瓶消毒液)**又は**煮沸(85℃以上1分以上加熱)**にて消毒しましょう。
(*塩素系消毒剤は水5Lに対してキャップ1杯を目安に希釈し使用しましょう。これで約250倍希釈になります。)



なお、下痢やおう吐がひどい場合、脱水症状を起こすことがありますので、水分補給に努めるとともに、早めに医療機関を受診してください。

(特に乳幼児や高齢者には注意が必要です)



JA熊本厚生連健康管理センター 所長 粟津 雄一郎

TEL: 096 (328) 1256

FAX: 096 (328) 1229

「JA阿蘇きらり」



中部営農センター農産課農産係兼
地域農業再生協議会担当

いわした ことろう
岩下 小太郎

- ★趣味=書道・琵琶弹奏
- ★一言コメント=組合員の皆様に寄り添える
JAマンになれるように、努力して参ります。



中部営農センター畜産課畜産係

さかた まい
坂田 麻維

- ★趣味=音楽鑑賞
- ★一言コメント=入組2年目です。畜産関係の精算業務をしています。異動して半年になりますので、テキパキと処理が出来るように頑張りたいです。

JA阿蘇 イラスト違い探し 「お正月の遊び」

(出題:イラストレーター みやたまゆき)

左右2枚のイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください!



※答えは15ページにあります。

理事会・監事会報告

■平成29年度第10回理事会

日時 平成29年10月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

平成29年度上半期決算実績報告について

- 1) 貸出金について

報告事項

- 1) 内部監査実施状況報告書(平成29年7月～9月)について
 - 2) 事務ミス等の発生状況について
 - 3) 平成29年度顧客属性システム(CCS)定期確認について
 - 4) 平成29年度週末事故受付状況について
 - 5) 平成29年度組合員の加入及び脱退の状況について
 - 6) 平成29年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況(平成29年9月末)について
 - 7) 不祥事未然防止の為の行動計画進捗状況(平成29年9月末)について
 - 8) まるごと阿蘇“世界農業遺産ウォーキング2017”開催について
 - 9) 平成29年度県下JA-SSキャンペーン実施要領について
 - 10) JA阿蘇葬祭事業年度別損益推移について
4. 閉会

■平成29年度第11回理事会

日時 平成29年11月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

10月末実績報告について

平成29年度全国監査機構決算監査期中改善指示書について

- 1) 農業経営維持緊急特別対策資金の一部変更について(案)
- 2) 貸出金について(案)
- 3) 事務リスク管理規程の一部改正について(案)
- 4) 職員年末賞与支給について
- 5) 固定資産取得委員会(黒川育苗センター)委員選任(案)について
- 6) 平成30年産特栽米肥料・農薬について(案)

報告事項

- 1) 県域ローンセンター媒介業務実績について
 - 2) JA阿蘇総合展示会実績について
 - 3) JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の29年9月末進捗状況について
 - 4) Aマート・給油所の直近3ヶ年損益状況について
 - 5) 葬祭事業直近5ヶ年の斎場別損益状況について
 - 6) 場所別経営分析の本所損益及び営農指導事業損益の配賦基準について
 - 7) 裁判について
4. 閉会

●平成29年度第9回監事会

日時 平成29年10月19日午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成29年度上期決算棚卸監査取りまとめ事項について
- 2) 平成29年度上期決算監査事務手続きについて

報告事項

- ①常勤監事業務報告について(9月)
 - ②常勤会議等報告について
 - ③内部監査実施状況報告について(7月～9月)
 - ④行事予定について
4. 閉会

●平成29年度第10回監事会

日時 平成29年11月14日午後1時30分

場所 本所2階第2会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成29年度上期決算監事監査とりまとめについて
- 2) 平成29年度導入家畜等棚卸監査実施要領(案)について

報告事項

- ①常勤監事業務報告について
 - ②常勤会議等報告について
 - ③平成29年度全国監査機構期中監査改善指示書について
 - ④JA監事監査基準の改訂等について
 - ⑤行事予定について
4. 閉会

●平成29年度第11回監事会

日時 平成29年11月27日理事会終了後

場所 一の宮中央支所小会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成29年度上期決算監事監査報告書(案)について

報告事項

- ①行事予定について
4. 閉会



J A 阿蘇職員異動のお知らせ (平成29年12月1日発令)

氏名	新 辞 令	旧 辞 令
後藤 美香	高森中央支所金融共済課金融共済係	高森中央支所金融共済課金融渉外係

平成29年11月

平成29年度 農家経営承継者支援事業

農家経営を承継
された皆様へ

種苗、肥料の購入など、農業経営にかかる費用を助成します。

助成申請期間（JAでの受付期間）

平成30年2月15日(木)～平成30年4月20日(金)

対象者

(助成要件)

以下すべてを満たす方を対象とします。

- ①平成29年1月1日から平成29年12月31日までの間に、3親等以内の親族より農家経営の承継を行った方
- ②平成29年1月1日時点で、満年齢が18歳以上45歳未満であること
- ③申請時点で営農しており、今後も継続する見込みであること
- ④平成29年1月1日から平成29年12月31日までの間に行政等が実施する「青年給付金制度」による給付金を受給していない方

ただし、上記のほかに、平成28年度の本事業の未申請者でかつ、平成28年度募集要領に合致する方については、今回募集の対象と致します。

助成金額

1人あたり
年間最大 **20**万円
(1人あたり申請は1回限り)



・助成総額には上限があります。そのため、多数の申請があった場合は要件を満たしていても助成額が減額される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

お問合せは JA 阿蘇営農部営農企画課まで (Tel0967-22-6115)

 JAグループ熊本